2026 年 11 月 9 日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

地域で学ぶ学生・教員が集う交流会を開催
「第 6 回 地方を学ぶ交流会 in 京都産業大学」

―学生・教員・自治体関係者が実践知を共有し、地域連携教育の可能性を探る―

京都産業大学経済学部は、福井県および株式会社応用芸術研究所との連携により、「第 6 回 地方を学ぶ交流会 in 京都産業大学」を 2026 年 11 月 18 日（水）に開催します。本交流会は、地域をフィールドに学ぶ学生や教員、自治体関係者が集い、それぞれの活動成果や実践知を共有するものです。今回は、学生による活動発表に加え、フィールドワーク教育を実践する教員によるクロストークも実施し、地域連携教育の成果や可能性について考えます。ぜひご取材いただき、広くご紹介くださいますようお願い申し上げます。

【本件のポイント】

・地域で活動する学生が実践的な学びの成果を発表

京都府南丹市美山町や兵庫県たつの市、福井県などをフィールドに活動する学生が登壇します。地域住民や企業、行政との関わりを通じて得た気づきや成果を共有し、地域で学ぶ意義や魅力を発信します。

・学生・教員・自治体関係者が交流し、地域連携の実践知を共有

地域連携活動に取り組む学生や教員に加え、福井県の自治体関係者も参加します。それぞれの立場から活動事例や課題を共有し、地域社会と大学が連携した学びの可能性を探ります。

・フィールドワーク教育を実践する教員がクロストークを実施

地域をフィールドに教育活動を展開する教員が学部横断で登壇し、教育効果や運営上の工夫、実践を通して見えてきた課題などについて議論します。地域連携教育のさらなる発展につながる知見を共有します。



（昨年度交流会の様子）

第６回 地方を学ぶ交流会 in 京都産業大学

■日　時　　2026 年 11 月 18 日(水)16:30～19:00
※ポスター・ブース展示は 15:30 から実施

■場　所　　京都産業大学　４号館　４階　Innovation HUB
（京都市北区上賀茂本山）

■主　催　　京都産業大学 経済学部、京都産業大学 ボランティアセンター

■共　催　　福井県、株式会社応用芸術研究所

■対　象　　地域連携活動に取り組む学生、地域活動に関心のある学生、フィールドワーク教育を実践・検討する教員、本学教職員、自治体などの地域関係者

【当日プログラム】

＜15:30～　　ポスター・ブース展示＞

- 学生キャンプ
- 京都産業大学ボランティアセンター学生スタッフ
- 静原応援隊
- 各ゼミナールによる地域連携活動
- 福井県の取り組み紹介　など

＜16:30～　学生発表「地域で見つけた私の学び」＞

① 菅原ゼミナール（京都府南丹市美山町）
② 地域活性化フィールドワーク（兵庫県たつの市）
③ 学生キャンプ（福井県鯖江市・坂井市）

＜17:00～　地域発表＞

福井県 若者躍動プロジェクトチーム

＜17:15～ クロストーク「フィールドワークを取り入れると…」＞

【参加教員】

経 済 学 部 塩津 ゆりか 教授
経 営 学 部 上 元　　亘 教授
現代社会学部 滋野　浩毅 教授
経 済 学 部 菅原　宏太 教授

<18:40～ 交流会>

本件に関するお問い合わせ先
内容について：京都産業大学 経済学部　菅原宏太教授
E-mail：sugahara@cc.kyoto-su.ac.jp
取材について：京都産業大学 広報部 TEL:075-705-1411



第6回 地方を学ぶ交流会 in 京都産業大学

11月18日（水）
@4号館イノベーションHUB

フィールドワークを行う / 行いたい先生方へ

学びのフィールドはいかにしてつくられ、そこでは教員、学生、地域は何を実践するのでしょうか。「地方を学ぶ交流会」はこれまで正課内外で地域活動を行う学生の交流を目的に行ってきました。今回は初の試みとして教員の皆様を交え、地域での学びについて多層的に考える場として開催いたします。お気軽にお越しください。

紹介展示 15:30 ～

学生キャンプ・ボランティアセンター
静原応援隊・各ゼミなど

学生発表 16:30 ～ 地域で見つけた私の学び

① 菅原ゼミ（演習科目：南丹市美山町）
祭りなどの地域行事にスタッフとして参加し、聞き取り調査をもとに研究発表

② 地域活性化フィールドワーク
（講義科目：兵庫県たつの市）
住民・企業・行政へのヒアリング調査を通じて行政に対する政策提案

③ 学生キャンプ（課外・福井県）
インカレ形式で、京都市内などの学生と地域住民が一体となったプロジェクト活動を通年実施

地域発表 17:00 ～ 受け入れ側として…

福井県　若者躍動プロジェクトチーム

クロストーク 17:15 ～ フィールドワークを取り入れると…



塩津ゆりか
教授（経済）
岐阜県郡上市
Z世代×観光DXで交流人口拡大の未来像を郡上からデザイン



上元亘
教授（経営）
岡山県真庭市ほか
美食と観光に関するマーケティングによる誘客と付加価値の創造



滋野浩毅
教授（現代社会）
京都府綾部市
地方都市・農山漁村活性化のための地域との協働によるコトおこしの実践

モデレーター：菅原宏太教授（経済）

既にフィールドワークを行う教員が、地域との関わり、運営方法、学びに関する経験や悩み、について、語り合います。

第5回の様子はこちら◀

共催団体の活動はこちら◀

主催：京都産業大学経済学部・京都産業大学ボランティアセンター
共催：株式会社応用芸術研究所　福井県